

A-33 小児期発症単純部分発作の発作時脳波 EEG-VTR同時記録を用いた検討

名古屋大学小児科学教室

○奥村彰久 大木隆史 前田規秀 鬼頭正夫
羽賀淑子 麻生幸三郎 根来民子 渡辺一功

単純部分発作（以下SPS）の発作時脳波所見に関する報告は少なく、特に小児のSPSの発作時脳波所見についてはまとまった報告はほとんどない。我々は、小児のSPSについてEEG-VTR同時記録を用いて、その発作時脳波について検討した。

【対象及び方法】当教室で、EEG-VTR同時記録でSPSが記録された小児期発症のてんかんの患者のうち、ビデオテープ及び発作時脳波記録がともに保存されている症例21例。SPSの定義は、発作中に周囲への反応性が保たれていること、あるいは患者が発作を追想可能であることとした。

21例の計59回（一人の記録回数1-8）の発作を検討した。

【結果】発作間欠時脳波の発作波焦点はfrontal 5例、temporal 1例、centro-temporal 3例、occipital 5例、推定不能 7例（多焦点 2例、発作波なし 5例）であった。

発作時脳波では、3例は1-5回の記録上脳波変化を認めなかったが、残りの例では脳波所見に何らかの局所性があり、発作波焦点が明瞭なもの10例、発作により所見に違いがあるなどの理由で詳細な検討の上で焦点を推定し得るもの8例であった。発作間欠時脳波で発作波焦点を認めた14例のうち、発作時脳波の焦点が一致しなかったものが4例あった。また、発作間欠時脳波で焦点推定不能であった7例中6例で焦点を推定し得たが、明瞭に推定できたのは3例のみであった。

EEG-VTR同時記録では、発作時脳波で所見があった18例のうち、発作症状が脳波上の変化に先行した例が5例あった。また、発作起始時の脳波の変化が焦点性であったものは18例中9例に過ぎなかった。

【考案】小児期発症のSPSは、発作間欠時脳波のみで発作波焦点を推定するのは必ずしも容易ではなかった。EEG-VTR同時記録により発作時脳波を詳細に検討することにより、大部分の症例で焦点を推定することが可能であったが、症例によっては発作間欠時の脳波所見と解離の見られることもあり、VTR-EEG同時記録を行っても発作波焦点を推定することは容易でなかった。

A-34 部分発作と脱力/ミオクロニー/欠神様発作を 合併した症例の臨床脳波学的検討

大阪大学 医学部 小児科

○今井 克美、小野 次朗、永井 利三郎
荒井 洋、小高 隆平、板垣 裕輔、田中 順子
岡田 伸太郎

【はじめに】部分てんかんにおいて、CBZの使用により脱力/ミオクロニー/欠神様発作があらたに出現する例が既に報告されているが、CBZの服用なしに合併する症例も時に経験される。このような症例の病態/臨床像を検討した。

【対象】発作間欠時脳波で中心側頭部棘波を認め、臨床的に部分発作またはGTCを有する部分てんかんの内、経過中に脱力/ミオクロニー/欠神様発作(At-My-Ab)を合併した5症例について、臨床脳波学的特徴を検討した。

【結果】①年齢は、4歳-10歳で、全例女児であった。てんかん発症年齢は1歳-8歳。At-My-Abの出現は3歳-9歳で、全例抗てんかん薬内服中であった。

②てんかん類型は、症候性部分てんかん3例（新生児重度仮死後1例、臨床脳波対応のある側頭葉囊胞性病変1例、中心側頭部徐波を認める1例）、潜因性部分てんかん2例（内1例はBECCTに類似）であった。新生児重度仮死後の1例を除き、知能正常で神経学的異常所見を認めなかった。典型的なAtypical benign partial epilepsy of childhood (ABPEC, Aicardi)、CSWSを認めなかった。

③部分発作は、5例中2例はシルビウス発作であった。At-My-Abの発作時脳波を3例において捕捉し、残る2例は臨床的に検討した。一瞬の脱力発作を3例に認め、単発のCmT spikeの直後に出現した。欠神様発作は2例に認め、両側性棘徐波群発に一致して動作緩慢となり、spike成分に一致して部分性ミオクロニーがみられる事があった。

④経過中、CmT spikeが常に一側優位に出現し左右交代性に出現しない3例中2例に器質性病変が存在した。

⑤CBZが部分発作/GTCに有効であるにも拘らず、At-My-Abを誘発した症例が2例存在し、治療を困難にしていた。

【まとめ】部分発作/GTCにAt-Myo-Absを合併した部分てんかん5例を経験した。At-Myo-Absは、一瞬の脱力発作と、脱力/ミオクロニー要素を伴う欠神様発作とに区別された。これらの発作の合併が既に報告されているBECCT、ABPEC、CSWSとの共通点も多いが必ずしも診断基準を満たさず、両者を含む一連のスペクトラムを形成すると考えられた。